

令和元年度「嬉野市かがやき大学」第11回一般教養講義
令和2年2月10日(月) 13:30~14:40

- 1 開会
- 2 会長挨拶 嬉野町老人クラブ連合会 会長 野副 道夫
- 3 講義
講師 嬉野市総務・防災課 副課長 井手孝一 氏
演題 「嬉野市の防災について」
- 4 謝辞 嬉野町老人クラブ連合会 副会長 山口政廣
- 5 閉会



リラックス体操を取り入れながら、スライド資料を使って、分りやすく話して頂き、受講者の皆さんも興味深く聞き入っておられました。「令和元年の大雨災害、H30の8月豪雨、H29九州北部豪雨の状況」「土砂災害や河川氾濫の実際、線状降水帯」「雨の降り方と土砂災害、浸水害、洪水害」等、災害の実際について、具体的に話して頂きました。

受講生の皆さんも、災害から身を守るためには、防災マップを活用して地域の災害のリスクを知ることや災害から身を守るための方法を知ることが大切だということに納得しておられました。また、具体的に、防災無線やTV、ラジオ、携帯等、気象台の危険度分布のデータ等の活用や、高齢者が避難する時に忘れずに準備する物について、具体的に示して頂きました。高齢者ならではの物もあり、参考になりました。

受講生の皆さんも、「よかろう〜」「自分は大丈夫」とは思わずに、命を守るのは自分だと思われたのではないかと思います。

受講生の多くが65歳以上です。避難行動に移るまでには、時間もかかります。住んでいる地区や地域コミュニティ等で改めて話題にしていきたいという思いを持たれたようです。

なお、当日の受講者は113名でした。内訳では、塩田町から82名、嬉野町から31名でした。